

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	卒業研究					授業形態	演習			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	西田 雅美							ICT活 用	○	
授業概要	各自の研究テーマに沿って、先行文献を収集し、分析や考察を行いながら、卒業研究としてまとめ、発表する。									
関連する科目	事前に「子ども教育専門ゼミⅠ」を履修し、同時に「子ども教育専門ゼミⅡ」を履修すること。									
授業の進め方 と方法	必要に応じて集団指導と個別指導を実施する。 集団指導では、グループワークを取り入れ、共通事項についての討議をはじめ、指導・助言を行う。 個別指導では、各自の研究テーマに沿った指導・助言を行う。									
授業計画 【第1回】	研究テーマの設定 これまでの学びより、各自の研究テーマを設定する。									
授業計画 【第2回】	テーマの確認と検討 各自のテーマについて、設定の背景と研究目的について確認する。									
授業計画 【第3回】	研究計画書の作成① 研究計画書の作成について、資料を基に指導を行う。									
授業計画 【第4回】	研究計画書の作成② 研究テーマ設定の理由、研究目的、研究方法、研究スケジュールについて作成する。									
授業計画 【第5回】	研究計画書の作成③ 研究方法（アンケート実施の有無・調査方法等）についての確認と内容を検討する。									
授業計画 【第6回】	研究計画書の修正と検討① 研究スケジュールを確認し、見通しを立てられるようにする（後日、メンバー間で報告を行う）。 調査内容について検討する。 関連する先行文献・書籍等を探す。									
授業計画 【第7回】	研究計画書の修正と検討② テーマ設定の理由、研究目的、研究方法、研究スケジュールについて確認するとともに共通理解を図る。 調査内容について検討する。 関連する先行文献・書籍等を探す。									
授業計画 【第8回】	論文構成と書式の確認 論文構成について、再度確認を行う。 書式については、配布された資料をもとに確認を行う。 関連する先行文献・書籍等を探す。									
授業計画 【第9回】	先行研究・文献の収集① 関連する先行文献・書籍等を探し（記録を残す）、読み込む。 調査内容の修正・仮説の設定を行う。									
授業計画 【第10回】	先行研究・文献の収集② 関連する先行文献・書籍等を探し（記録を残す）、読み込む。 調査内容の修正と仮説の設定、調査対象の検討を行う。									

授業計画 【第11回】	先行研究・文献のまとめ① 関連する先行文献・書籍等を探し（記録を残す）、読み込み、まとめる。 調査対象を検討する。
授業計画 【第12回】	先行研究・文献のまとめ② 関連する先行文献・書籍等を読み込み、まとめる。 調査依頼を行う。
授業計画 【第13回】	各自の中間報告（文献研究のまとめ）① 各自の研究テーマに関する先行文献のまとめを報告する。 調査依頼と調査を実施する。
授業計画 【第14回】	各自の中間報告（文献研究のまとめ）② 各自の研究テーマに関する先行文献のまとめを報告する。 ゼミメンバーに対して、研究計画書をもとにした進捗状況の報告を行う。
授業計画 【第15回】	各自の中間報告（文献研究のまとめ）③ 前回の報告にて指導を受けた部分について修正を行うとともに、作成を進める。 調査の分析、まとめを行う。
授業計画 【第16回】	論文作成と進捗状況の報告、修正① 各自、研究の背景と現状、研究目的、研究方法について、研究計画書をもとに作成を進める。 調査の分析とまとめを行う。
授業計画 【第17回】	論文作成と進捗状況の報告、修正② 各自、研究の背景と現状、研究目的、研究方法（調査の分析とまとめまで）について、作成を進める。
授業計画 【第18回】	論文作成と進捗状況の報告、修正③ 研究方法（調査の分析とまとめまで）について、作成を進める。
授業計画 【第19回】	論文作成と進捗状況の報告、修正④ 研究方法（調査の分析とまとめまで）について、作成を進める。 序論の確認を行う。
授業計画 【第20回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑤ 序論の修正と本論（調査分析・まとめ含む）の確認。
授業計画 【第21回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑥ 本論の修正。終論の作成を進める。
授業計画 【第22回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑦ 中間発表に向けた準備（プレゼンテーション作成と発表）を行う。 終論作成を進める。
授業計画 【第23回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑧ 中間発表準備（メンバー内で、プレゼンテーション）を行う。 終論作成を進める。
授業計画 【第24回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑨ 中間発表から得た学び・気づきについて修正を行う。 終論・参考文献の作成を進める。
授業計画 【第25回】	第25回 ゼミ内でのプレゼンテーション① 全体の確認を行う。 ゼミ内プレゼンテーションの準備を行う。
授業計画 【第26回】	第25回 ゼミ内でのプレゼンテーション② メンバー内で、各自のテーマについてプレゼンテーションを行う。 内容の追加・修正を行う。
授業計画 【第27回】	第27回 卒業研究審査会に向けた準備① 前回の修正をもとに、再度プレゼンテーションを行う。 審査会に向けた調整を行う。

授業計画【第28回】	第27回 卒業研究審査会に向けた準備② プレゼンテーションの実施と準備物の確認を行う。 審査会に向けて、最終調整を行う。
授業計画【第29回】	第29回 卒業研究審査会① 各自、研究テーマについての発表を行う。
授業計画【第30回】	第29回 卒業研究審査会② 審査会にてご指導いただいた部分について修正を行い、最終仕上げを行う。
授業の到達目標	1. 研究計画の立案とテーマに沿った論文作成ができる。 2. 研究成果をまとめ、卒業研究発表会で発表する。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(3)
授業時間外学習【予習】	研究計画にそって、論文作成に必要な情報収集や分析をしながら準備をすること（約1時間）。
授業時間外学習【復習】	授業を振り返り、内容を修正しながら論文作成を進めること（約1時間）。
課題に対するフィードバック	研究成果に対して随時指導・助言を行う。
評価方法・基準	卒業研究への取り組み（意欲・姿勢・態度）、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	授業内で指示する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	